

自然に
暮らす

遊んで、
学んで、
楽しんで!

設置店募集!

Sharing SN Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2020 VOL. 31

インタビュー | 国立天文台教授・水沢 VLBI 観測所所長
ほんま まれき
本間希樹

Nature
Game
No.
168

なぜだろう なぜかしら

在
る
こ
と
の
不
思
議

Nature Game No.168

“?”を楽しむ〈なぜだろう なぜかしら〉

Nature Game No.134

木とおしゃべり! 〈木のセリフ〉

<https://www.naturegame.or.jp/>

Contents

- 特集/なぜだろう なぜかしら…p2
- 日置せんせい教えてください! /間違いもぜんぶOK!それが仮説です…p8
- SNLな仲間たち/近江美久…p10



自然に寄りそう 未来につなぐ
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会



スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています

なぜなら宇宙は
 せいぜい宇宙は
 せいぜい宇宙は



すごい!!

「なぜだろう」は、
 皆さんの活動の根源

あまりにも日常とかけ離れた遠い世界で、すべての物を吸い込み無にしてしまう怖い存在という印象が、宇宙やブラックホールにはありました。

「宇宙の成り立ちを紐解いていくと、僕らはそのなかで誕生している。人が生まれること、地球上に存在するすべてにかかわってくるので、無関係ではいられないんです。もしかして人類はブラック

ホールに感謝しないといけないかも」と話す国立天文台教授・本間希樹さんの言葉に、軽いしびれが走るような衝撃が…。暗黒の天体・ブラックホールに感謝!?

宇宙の始まりは今から138億年前。ひとつの小さなタネのようなものでした。そのタネが爆発IIビッグバンを起し、膨張することで現在の宇宙になったとされています。

「日々、なぜそこに天体があるのか、地球の上で生命が誕生したり、ブラックホールが存在するのか、それをなぜだろうと考えることが、僕ら天文学者の活動の根源です」と本間さん。

特集
 Interview インタビュー 国立天文台教授・本間希樹さん

「なぜだろうと考えることは僕らの活動の根源」。

2019年4月、史上初ブラックホール撮影に成功した国際プロジェクトの日本責任者・本間希樹さんは言います。宇宙を知ることで見えてくるものとは?

宇宙の謎は、私たちが存在することも無関係ではないようです。



Sharing Nature life
 SN life

『シェアリングネイチャー』
 それは、人が自然を尊重し、共生していく社会のキーワード。
 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は
 ネイチャーゲームをはじめとするシェアリングネイチャー活動とおして
 “自然と遊び、自然から学ぶよるこびにあふれた生活、
 ——をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

NatureGame No.

168

なぜだろう なぜかしら

自然のなかで見つけた「なぜだろう」は、さまざまな不思議や発見の入口です。想像力を動かせ、もっと知りたいと思うことで、自然の存在はどんどん近くなっていきます。知っても知っても尽きない自然の不思議に、自分なりに理由を考え、より深く関わる楽しさを味わえるネイチャーゲームです。

1

なせ、白いのがな? あい? わかった! きつこうだ!!

周りの自然を観察し、「なぜだろう」と思うもの・ことを見つけてシートにかく。

2

ボクはこうだと思っ! なせだろう? ...

その「なぜだろう」の理由を想像し、自分なりの答えを考える。他の人と紹介し合い、さらに考えや視野を広げてみよう。

SNL-vol.31 特別付録〈なぜだろう なぜかしら〉用 宇宙のメモ帳 カラーコピーをしてご使用ください。

見つけたふしぎ

なぜだろう?

見つけたふしぎ

なぜだろう?

今号の特集、ネイチャーゲームへなぜだろう なぜかしら」は、自然を観察して「なぜだろう」と思うものを見つけて、自分なりの答えを考えます。そのあと、お互いに疑問と考えた答えを紹介しあうというもの。答えは正解である必要はなく、科学的な根拠にこだわらずユーモアを交えたり、時には動物の動きや意見が入っていたり…自由に発想してOK。この点において、特に子どもたちの発想力には本当に驚かされます。想像力を働かせ、自然のなかで、なんで? どうして? を見つけていく過程の楽しさを味わい、心引かれるものや疑問を

見つけるたび、また答えや考えをシェアするたびに、新しい視点や自然とのつながりを感じ、自分の世界を広げていけるのも魅力です。

「ネイチャーゲームへなぜだろうなぜかしら」のように、自然界に素朴な疑問をもつ体験は、科学的な心、考え方の入口になるのではないのでしょうか」と話す本間さん。科学の世界でも、いろいろの人が意見を言い、さまざまなシナリオを立て、検証することは重要なプロセスだと言います。

「常識的にはおかしいと思える意見がある、僕も負けていられないなって思っています」

自分ってなんなの? II 宇宙人はいる

本間さんはブラックホールについて、「こんな天体が存在していること自体が「おかしい」と熱を込めて語ります。

「宇宙にも法則があつて、だからこそ宇宙の現象を式で書くことができ、ブラックホールなんていうへんてこな天体の存在を予測して、それが確かに存在している。このこと自体が本当に不思議ですね」

光さえも吸い込むとんでもなく強い重力を持つのがブラックホール。ブラックホールは銀河の成り立ちに大きくかかわっていて、最初に大きなブラックホールができて、いろいろなものを集め銀河ができたのではという可能性もあるそうです。

「もしかしら、私たちが住む銀河系があるのも、ブラックホールがあるからじゃないかと言うことができる。その流れでいくと、ブラックホールがあつたから銀河ができて、銀河ができたから太陽と太陽系ができて、その結果地球ができて、人類が誕生して…、とつながってきます。ですから、ブラックホールに感謝しないといけないかも

出たとしても、その意見を大事にし、リスペクトすることも大切ですよ。その点もこのネイチャーゲームと重なりま

す。科学の世界でも大発見というのは、最初は大間違いだと思われることが多い。今までの定説がくつがえって、新しい説が生まれていく。科学はその繰り返しです」

「ブラックホールを見たい!」

ブラックホールの研究を続ける本間さんですが、天文学の道に進もうと決めたのは大学3年に上がる時。学科を選ぶ際、エンジニア系の工学系が基礎研究を極める理学系のうち、「謎を明らかにしたい」「物事の真理を追究したい」という思いが強く理学部へ。そのなかで宇宙っておもしろそうだなと天文学科に進みました。

大学では天の川を研究。宇宙に存在する謎の物質で、いまだその存在が明らかになっていない「ダークマター」にも興味をもっていたそうです。

研究一筋、「なぜだろう」を原動力に子どもの頃からまっすぐに進んできたように見える本間さんですが、ご本人いわく、「ごく普通の子どもでした」。スポーツも好きで、小学校、中学、高校とサッカーを続けていたそうです。「ただ、星を見るのは好きで、小学校

れないんです。これは、まだ仮説の段階ですけどね」

今、本間さんはじめ多くの電波天文学者が真剣に今後取り組むべきと考えているのは、宇宙人を探すこと。宇宙人が住めるかもしれない惑星が宇宙にどれくらいあるか、天文学者が研究を重ねた結果、地球に似た惑星も少しずつ見つけ始めています。

「地球という星がいかに貴重な環境で、特別な場所かがわかってきています。何千個何万個という地球に似た惑星が見つかる、でもそこに宇宙人がいないことがわかったら、それは人類にとって非常に大きな意味をもつでしょう。地球の上で戦争なんてしている場合じゃない、とさまざまな意味でマインドを変えざるを得ません」

さらに、SDGsの観点からも大きな意味があると本間さんは言います。

「100年しか繁栄しない宇宙人なのか、1億年繁栄する宇宙人なのかで、出会える確率がゲタで変わってきます。もし、宇宙人の信号をキャッチできたとしても、それは宇宙のどこかに持続可能な文明があることを意味します。彼らができるなら、僕らにもできるはずだというヒントになります」

本間さんの専門である電波望遠鏡を使った宇宙研究の究極のゴールのひとつは、宇宙人が発している電波があるのかなかを検証すること。

3年ごろに天体望遠鏡がほしいと言って、親に買ってもらいました。なにかに興味をもったときに親が否定せず、受け止めてくれた環境はありました」

大学院博士課程修了後、国立天文台に就職。その後、複数の電波望遠鏡の観測データを合成してひとつの観測データとして扱う手法、VLBI(注2)という技術に出合います。

「VLBI技術を使って、一つひとつの星の距離を電波望遠鏡で丹念に測っていたのですが、だれもやったことがないから答えがない。1999年から始め精密を重ねて、2007年に最初の成果が出ました。その時点で初めて、星の距離を測る技術では、世界最高レベルに達したという自負をもちました。2008年に、そのタイミングでVLBIの技術を使ってブラックホールが見えるかもしれないというニュースがアメリカの研究グループから入ってきたんです」

ブラックホールを実際に見られるとしたら、天文学的には事件。それが唯一できるのがVLBI、電波望遠鏡を使った技法。この技術にかかわった研究の当人である自分が、かかわらないというのはいらない。そう思った本間さんをはじめとした有志が、アメリカに協力を提案し国際チームをつく

もしかして

人類が誕生したもの
わたしのおかげかもよ…ふふふ



「何十年後かに今ある電波望遠鏡のたとえば100倍ぐらいの感度の望遠鏡をそろえることができれば、実際に隣の星でやっているテレビが見られるような時代がくるかもしれない(笑)。ぜひやってみたい僕の夢ですね」

「宇宙人がいる」という仮説。その出発点となる「なぜだろう」はどんなところ

りました。観測するための電波望遠鏡の整備に8年。データ検証に2年。プロジェクトスタートから10年かかって、ブラックホールの撮影に成功したのです。本間さんがテレビのドキュメンタリー番組で見せていた、わくわくした表情がとても印象的でした。

「宇宙っておもしろいなあっていう、そのわくわく感がないと、研究をやりたいと思えないと思うんです。でも、その感覚は偉そうなものではなくて、子どもがなにかに熱中しているときのわくわくと同じですよ」

NHKの『子ども科学電話相談』で回答者を務める本間さんは、じつは子どもに教えているのではなく、自分子どもから教わっていると語ります。「視点も全然僕らと違うし、何かに熱中して火がついちゃっている子は、僕の小学校時代とはくらべものにならないくらい天文博士や恐竜博士だったりします。そういう子どもたちを見ると、



るにあるのか、うかがってみました。「それは、自分自身を見返した時ですよ。人間ってなんなの? 自分ってなんなの? という問いです。宇宙はどこでも同じ法則が成り立っていて、そして地球上には僕らが存在している。科学的な立場に立てば、ほかの星にいても全然不思議じゃない。それが根拠です」

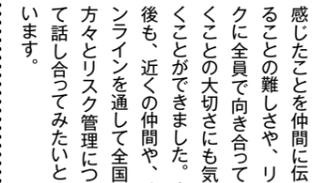
注2: VLBI 複数の電波望遠鏡の観測データを合成して一つの観測データとして扱う手法。日本国内の4カ所(岩手県奥州市、鹿児島県薩摩川内市、東京都小笠原村、沖縄県石垣市)に設置した口径20メートルの電波望遠鏡を合成することで、直径2300キロメートルの観測網を構築している。

注1: ダークマター: 現代物理学では、人類はじめ地球をつくっている原子などの物質全部を集めても宇宙全体の5%にしかならないと考えられている。宇宙の27%は、光も熱も出さず観測不能なダークマター(暗黒物質)で、68%は物質でつらぬくダークエネルギー(暗黒エネルギー)とされる。



**全国ニクシエアリング
ネイチャーの日2020**
2020年10月18日
草刈亜衣(日本協会)

毎年10月第3日曜日は全国ニクシエアリングネイチャーの日。今年は「目」として感じる自然」をテーマに、自然を楽しむ1日を過ごしました。森の中で目として耳を澄ますと、前夜に降った雨のしずくが地面に落ちる音の連が楽しく、娘と何に落ちたのかを想像したり、音のする方を同時に指さしたりしながらあちこち移動して楽しみました。目とするシンプルなお作法、楽しみが広がりました。皆さんはどんな1日を過ごしましたか？



**KYTオンライン
セミナーに参加して**
2020年9月22日
月居佳史(茨城県)

「職業柄なのか、個々に目が行くのではなくて、なんでこんなものが地球上に存在するんだらう、という目で見てしましますね。ミクロなもの、たとえば僕らの体をつくっている元素は、星の中からできたわけですね。みなさんの体



**災害支援活動
メーリングリストの
ご案内**

下記、熊本地震支援活動「こびる」や、広島県での「お茶っこ広場」開催情報等、被災地支援情報を配信します。登録をご希望の方は下記までご連絡ください。
tunagarou@naturegame.or.jp
(担当:佐々木、草刈)



**東日本大震災津波から10年を
迎える大槌から**

想像を絶するような被害と犠牲者を出した東日本大震災からあと3ヶ月程で10年を迎えます。今日まで復興事業推進や多くの支援活動により、住宅が建ち、街並みが一新し、訪れる人は「新しい町ができてよかったね」と声をかけてくれます。しかし、ハード面での整備が整いつつある一方で、人口減少、地域コミュニティや地域産業の消滅がつぎ、町自体が消滅してしまうのではないかと危機感を抱いています。加えて、家賃が年々高くなる災害公営住宅、まちづくりにおける地域格差、元あった暮らしの記憶の風化など、表には見えにくい課題も多いのが現状です。震災を体験した一人として、今後も一人ひとりに寄り添って行きたいと思っています。



News

**オンラインでの開催決定!
第31回全国ネイチャーゲーム
研究大会IN神奈川**

『出会う・ふれあう・学びあう、いいじゃん神奈川』
●日程: 2021年6月5日(土)、6月6日(日)
●形態: Zoomを使用したオンラインでの開催
●内容: コーネル氏の講演を始め、神奈川県内の地域の会を中心にワークショップやフリープログラムをオンラインで行います。
※詳細は、3月頃までに決定しご案内いたします。

**分野別!
実践事例・研究報告募集**

ネイチャーゲーム・シェアリングネイチャー活動の実践事例を分野ごとに募集しています。
●分野: 1. 地域実践 / 2. 講師活動 / 3. コーディネート / 4. 学校教育 / 5. 幼児教育・保育
●応募締切: 2021年6月30日(水)
●応募方法: 所定の様式に記入し、メールで応募
●応募先: jirei@naturegame.or.jp
※ホームページから、様式ダウンロードと過去の事例・研究の閲覧ができます。

サンクス賞発表

今年度31名の方が受賞されました。HPの特設ページにて、お名前を紹介していますのでご覧ください!
[会員のページ] → [サンクス賞2020、発表!!]

**シェアリングネイチャー奨励賞
発表**

[団体部門]
優秀賞: 滋賀県シェアリングネイチャー協会
[指導員部門]
優秀賞: 小崎昭一(群馬県)
※受賞理由はホームページをご覧ください。
[会員のページ] → 左側バナー [共に学ぶ・わかちあう] → [シェアリングネイチャー奨励賞]

専門委員会報告

■指導者養成委員会-9月15日(火)
◆コロナ関連の対応状況報告
◆2021年度全国研究大会についての検討
◆リーダー研修についての検討
◆トレーナー・インストラクター・講座講師の研修についての検討 他

**新ネイチャーゲームトレーナー
誕生**

今年度1名のネイチャーゲームトレーナーが誕生しました。今後、各地で開催されるネイチャーゲームリーダー養成講座やフォローアップセミナーで主任講師を務めます。



小崎昭一
(群馬県)

**応援しよう!熊本地震支援活動
シェアリングネイチャーカフェ
『こびる』**

熊本地震で被災し不安や不自由な日々を送る方々の「心の拠り所」を目指してスタートした、お茶の時間「こびる」。日程、お菓子の送付、ボランティア募集は下記のHP専用ページから。
[災害復興支援] → [熊本地震支援活動]

**日本シェアリングネイチャー協会
年末年始休業のお知らせ**

2020年12月29日(火)~2021年1月3日(日)

天文学者である本間さんは、身近な自然のどんなことに「なぜだろう、なぜかしら」と感じるか知りたいと思えました。

「職業柄なのか、個々に目が行くのではなくて、なんでこんなものが地球上に存在するんだらう、という目で見てしましますね。ミクロなもの、たとえば僕らの体をつくっている元素は、星の中からできたわけですね。みなさんの体

**100億年
巻き戻してみたら
すべては星のひと粒に**

生命になる。地球上の『なぜだろう』はすべて宇宙につながっている。そう考えてしまえば、やっぱり職業病ですね」

すべてはつながっていると意識すると、物の見方が変わってくるということ。そう、変わります。すごく大事ですよ。たとえば、ネイチャーゲームをやるときに、その辺の石ころを取ってきたとしても、この石ころを地球が誕生

のどんな垢でさえ、全部バラバラにする。と灰素とか窒素などの元素になり、それぞれの粒を100億年時間巻き戻して歴史を遡っていき、必ず星の真ん中あたりにある。「人間は星の子だ」という言葉はまさにそういうことです。元素が、大きな分子になり、アミノ酸になり、

生じた頃の45億年前に遡ってみると、という話ができますよ。時間軸を広げて自然を見てみると、自然について伝えられることが広がるのではないのでしょうか」

謎を解き明かしていく毎日に疲れることはありませんかと尋ねると、意外にも「疲れます(笑)」との答え。

「でも、宇宙が好きだし、謎解きが好き。嫌になったら寝ますし、お酒も飲みますけど、好きだから戻ってくるんですよ」

本間さんは、その好きなことはどんなことでもよいけれど、みんなにぜひ星を見あげてほしいと思っっているそうです。

「星を見る。つまり地球の外に目を向けるということ。地球の外に目を向

「地球の『なぜだろう』はすべて宇宙につながっている。本間さんの言葉と思考を携えて、自然のなかに出かけたら、見える世界がきつと変わる。宇宙と自分とのかかわりが始まるはずですよ」

**取材後、
(なぜだろう なぜかしら)
をやってみたら...**

身近な「なぜだろう」から始めたのに、発想は空を越えて大気圏を貫いて、ど〜ん宇宙の彼方につながって行って…。自分と宇宙がグンと近づいた気がします♪

地球上の「なぜだろう」は、
すべて宇宙につながっている

**本間希樹・著
『巨大ブラックホールの謎』**

史上初のブラックホール撮影を成し遂げた一大プロジェクトの全貌と、ブラックホールの謎について、本間さんの詳しい解説が読める!
定価 1,000円 / 講談社

**本間希樹・著
『国立天文台教授が教える
ブラックホールって
すごいやつ』**

ページをめくるたび、宇宙の謎と不思議に触れ、ブラックホールのごとくどどん引き込まれる一冊! 吉田戦車さんのインパクトのあるイラストで、子ども大人も楽しめる!
定価 1,300円 / 扶桑社
3名様にプレゼント! 詳しくはP.10をご覧ください。



仮説を立ててお話しよ



なんでこんな色、動きをしているの？自然界はそんな「不思議」であふれていますね。自然の前に「ありのままの自然を見よう」と言われることはありませんか。じつは「ありのまま」の中に、必ず人は自分なりの見方をもって自然を見ているのです。無意識に。その無意識の世界を意識の世界にもつてくること。それが仮説をたてるということです。今日は、「仮説」について考えてみます。

昭和の時代の理科の実験では、先生が道具を用意して、1から順に最後まで手順を説明し答えを出すところまで導いていました。それでは作業がしかありませんね。現在の授業では、自分なりの答えとその理由、つまり仮説をたてる時間を大切にしています。自分の考えを発表したり、図にしたりして共有する。仮説がいくつか出たら、同じ仮説ごとにグループをつくって話し合う。自分たちはこう考えているんだ、という立場を明確にします。

間違えもぜんぶOK！ それが 仮説です。



日置光久 (ひおき みつひさ)・監修
東京大学特任教授。元・文部科学省視学官。
日本シェアリングネイチャー協会理事。



確かに昔は仮説を立てずに確かめるだけの作業だったな。

無意識の仮説の連続!?
ネイチャーゲーム



じつは
みんな無意識に
仮説を立てて
いるんだ！



え?!
いつも無意識に
やっているの。
仮説を考えたの
むずかしいって
思った!



仮説って
合っているのかな?か
重要ではないんだ!

たとえば、物の温まり方を調べる実験。金属の長い棒にろうを塗りアルコールランプで熱すると、熱源に近いところからろうが溶けていきます。では水の場合は?と考えてみる。ピーカーの中の水に温度で色が変わるインクを入れアルコールランプで熱してみると、火から離れた水面の方から色が変わっていく。受験知識で言えば、「伝道と対流」。30秒で終わってしまう知識です。それよりも、色が変わっていく様子を見て「え!!」「なんで?!」と驚きと感動をもって感じる瞬間が大事。それが「主体的な学び」だからです。

実験と仮説は人間の行為。結果は「自然」です。そもそも人間は自然の一部で、自然は人間の上にあるもの。仮説があっていたかどうかなんて、問題ではありません! 自分の考えた仮説が違っていたときに、あれ、おかしいな?なんで?と考え続け、自然に教えを乞いましょう。自然は次々に新しい「なぜ?」「や「すごい!」と心が動く姿を見せてくれます。そして得た知識や考えを自分にプラスしていけばいいんです。それがそが人間が進歩するということです。

仮説α



仮説3



仮説2



仮説1



ギモン

Nature Game No.134 木のセリフ

- 1 本の木を見つめると、さまざまな木の個性が目にとまり、「なぜだろう」と感じることも次々に見つかります。想像を膨らませ、木からのメッセージを直接聞き出す(!!)このネイチャーゲームは、「きつと○○だからだ、○○かもしれない」といった、無意識の仮説の連続です。そうしてセリフを考える作業は時間がたつのを忘れるほど楽しく、気づいたらたくさんセリフカードがくっついて、まるでクリスマスツリー!? ぜひこの冬は、木のセリフで木とたくさんおしゃべりしてみてください。
- 【楽しみ方】2~3人で行う場合
- ① 木を見てメッセージを感じたり、「なぜだろう」と感じる部分を見つけ、セリフを考えカードに書いて、ヒモやテープなどで設置します。他にもおもしろい特徴や不思議なことを見つけたら、どんどんセリフを考えてみましょう!
 - ② 10分ほどたったらいっただん終了し、それぞれの設置したセリフをゆっくり見てみましょう。
 - ③ 全部読み終わったら集まって、感じたことを話し合ってみましょう。



吹き出し型のカード「木のセリフカード」をプレゼント! 詳しい応募方法は、P.10をご覧ください!

イラスト/井上みさお

ネイチャーゲームとは

1979年に米国のナチュラルリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された活動です。見る・聞く・触る・かくなどの感覚をつかって、自然を楽しむプログラムです。くり返し体験することで、自然と自分のつながりを意識することができます。



Sharing Nature Wellness

シェアリングネイチャー ウェルネス



ピースウォーク イラスト/井上みさお

歩きながら、あなたを取り巻くすべてのものを、あなたの一部として感じましょう。

独座敬亭山 独り敬亭山に座す

衆鳥高飛尽 鳥の群れは空高く飛び去り

孤雲独去閑 一ひらの雲も消え去った

相看兩不厭 長い間ながめて飽きることがないのは

只有敬亭山 ただ目の前の山のみである

李白

自然を体験するコツは、私たちの心を鎮め、周囲の自然をありのままに受け止め、そこに溶け込むことです。私たちが心のなかのおしゃべりを止め、自分のことばかり考えるのを止めて、今という瞬間を大切に生きる時、私たちの五感はずえわたり、葉や花や岩が話しかけてきます。自然と人間は決して別々のものではなく、一体のものです。

あなたが樹木に溶け込み、力強く立っているとします。枝が揺れるのを感じることができますか。かすかな風に葉がさらさらと音をたてるのを感じたり、鳥になって、枝から枝へと飛び回ってみましょう。鳥のさえずりに耳を傾け、あなたのなかで響き合うのを感じることができますか。今度は、草原を吹き抜ける風になって、その音や動きを感じてみましょう。あらゆる自然の音、動きのなかに、あなた自身を感じとってみましょう。

「(空と大地が私に触れた)より」

Joseph Cornelli
1950年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て1979年「Sharing Nature with Children」発表。以後、世界的なナチュラリストとして活躍。当協会名誉会長。



公益社団法人 日本シェアリングネイチャー協会

Zoom in Kanagawa 神奈川

2021年度 全国研究大会

2021 6/5 SAT・6 SUN

日時：2021年6月5日(土)、6日(日)
形態：Zoomを使ったオンライン開催
テーマ：出あう・ふれあう・学びあう、いいじゃん神奈川



～みんなで創ろう
新しいカタチの全国研究大会～

ジョセフ・コーネル氏 講演予定!

オンラインでのアロケラム 続々企画中♪お楽しみに! 詳細は、3月頃までに決定しご案内いたします。

在庫処分! 待～ってました!! 毎年恒例! 冬の特大セールを今年も開催!!

ネイチャーゲームショップ

年末クリアランスSALE

2020 12/15 TUE ~ 2021 1/15 FRI

今すぐセール会場へ!

気になるグッズを買い逃さないチャンス!

設置店募集! ご連絡ください!

販売店: しぜんのおそび、しぜんまなび

シェアリングネイチャーライフ Vol.31
通巻112号
発行日 2020年12月15日
発行人 西澤信雄
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-13-17ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010 Fax. 03-5363-6013 メール jimukyoku@naturegame.or.jp
編集: 草苺亜衣 デザイン・DTP: 花平和子

寄付募集中
キャンペーン中に2,000円以上寄付をいただいた方に、SDGsパッチをプレゼント!
詳しくはこちらまで→

編集後記
今号の特集取材後、「なぜだろう?」と発想はじめたことが、毎回宇宙へ到達してしまうように(笑)。次元が違うと感じていた宇宙が、当たり前木や石や風といった身近な自然とつながります。ましてや冬の星座を眺めたなら、もう宇宙人を探さずにはいられない...! 星空観察の新たな楽しみ(目的?)ができました。(草苺)



本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

Sharing Nature Life

な仲間たち

Next Generation 次世代のリーダー発見!!

北海道上川町 地域起こし協力隊

近江美久さん (北海道)

現在、北海道・上川町の「地域起こし協力隊・アウトドアプロデューサー」として登山ガイドをめざして働いている近江美久さん。大雪山登山の玄関口・層雲峡を擁する上川町。登山が大好きだった近江さんは、そのロケーションと同協力隊の自由度の高い働き方に「楽しそう!」と心が動き応募したそう。

現在は、勉強のために先輩ガイドについて登るなど、ほぼ毎日山にいますという近江さん。「飲食店の開店支援をするために山に1週間登れないことがあったんですが、精神的に疲れてしまつて...、山に登つてないと死にじやうと思いました!」そんな近江さんがネイチャーゲームに出会ったのは、大学生の頃。「子ども向けのイメージを持っていましたが、大人でも楽しめると感じましたし、『リーダーハンドブック』で、自分で実践していける点も魅力でした」

ネイチャーゲームは今、近江さんの大切な引き出しのひとつ。「自然のなかに人を案内した時にも、何をしていいかわからないということがありません。どんな自然でも、街でもキャンプでも使える汎用性の高さがネイチャーゲームの魅力!」自分が感じた驚きや感動、さまざまな感覚を共有できるガイドになりたい。登山ガイドの仕事は、どこまで行っても一人前というのはないと話す近江さん。「いつまでも半人前」の登山ガイドとして、今、スタートラインに立っています。

シエアリングネイチャー 感覚を共有できる! 登山ガイドになりたい!

※ネイチャーゲームリーダーハンドブック アクティビティ編。指導員用に手順や実践例を収録。

取材: 草苺亜衣 イラスト: 初澤久美

読者プレゼント!

アンケートに答えて シエアリングネイチャーグッズをゲットしよう!

Present

応募締め切り: 2021年1月15日
●のカレンダーご希望の方は、12月25日までに応募ください

1 本間希樹・著 『国立天文台教授が教える ブラックホールってすごいやつ!』3名様
特集でお話を伺った本間さんの著書。ページをめくると宇宙の謎と不思議に触れられる一冊! 大人も子どももこの一冊で宇宙通になれるかも! (1,300円/株桑社)

2 『木のセリフ』カード大小セット 3名様
本誌P.8~9で紹介したネイチャーゲーム(木のセリフ)に使える吹き出し型のカードセット。大、小各50枚入りセットでプレゼント!! (大セット 389円税込、小セット 368円税込/ネイチャーゲームショップ)

3 写真家ユニット・うみまーる 2021年カレンダー 5名様
シェアリングネイチャーの仲間でもある水中写真家ユニット・うみまーる。沖縄の座間味を拠点に、海の自然を守る活動にも精力的に取り組む彼らならではの写真と言葉で綴る12ヶ月! (提供:うみまーる)

アンケート項目:
1. お名前 2. ご住所(会員番号) 3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない) 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望(①/②/③) 6. ご意見・ご要望 7. 本誌をどこで入手しましたか?

サイズは 56x80mm!
小さい 28x40mm

吹出し型の紙なら本誌の「おしゃべり」がもっと楽しくなる!

宇宙の「なぜだろう?」にどっぴり漬かる!

戦車さんのダイナミックなイラストで存在感、羊羹みたいだ!

海の「なぜだろう?」にも注目しながら1年を過ごそう!

月の満ち欠けカレンダーで宇宙を眺めて暮らす! 22cm x 29.7cmの52x21mmサイズ!

